

令和7年度(2025年度) 兵庫県立三木北高等学校 学校評価一覧表

| 大項目 | 重点目標 | 具体的取組 | 主な担当部 | 項目 | 評価項目 | 教職員アンケート (平均値) | | | | | | 生徒アンケート (平均値) | | | | | | 保護者アンケート (平均値) | | | | | | 現状の分析/今後の取組・方向性・改善策 | 現状の分析/今後の取組・方向性・改善策 |
|-----------------|----------------------------------|----------------------|--------------|----|---|----------------|---------------|----|---------------|----|--------------|---------------|--------------|----|--------------|----|--------------|--|--|--|--|--|--|---------------------|---------------------|
| | | | | | | R7 | | R6 | | R7 | | R6 | | R7 | | R6 | | | | | | | | | |
| | | | | | | A | スコア | A | スコア | A | スコア | A | スコア | A | スコア | A | スコア | | | | | | | | |
| 【ESD/SDGs・地域連携】 | 様々な環境問題の解決に向け、主体的に取り組む | 地域連携 | 学年・特色教育 | 1 | ユネスコスクールとしての活動を通じて、SDGsへの理解を深める活動ができていますか。 | A | 3.59 (100.0%) | A | 3.33 (92.6%) | A | 3.06 (79.5%) | A | 3.08 (79.4%) | A | 3.29 (94.3%) | A | 3.28 (93.1%) | 授業や体験活動を通してSDGs理解は深まっている。/「ユネスコ教育動向」をものさしとした教育の方向性を検討。すべての生徒にSDGs理解深化。 | SDGs活動が継続し体験が広がっている。/ユネスコスクールとしての取組継続に期待する | | | | | | |
| | | 地域連携 国際理解 | 学年・特色教育・国際理解 | 2 | 教育活動を通じて、周囲との共生の心を育む活動ができていますか。 | A | 3.50 (95.5%) | A | 3.50 (100.0%) | A | 3.21 (91.7%) | A | 3.31 (90.3%) | A | 3.24 (92.7%) | A | 3.24 (93.1%) | 国際交流で異文化理解・尊重の重要性に気づき、コミュニケーション能力・語学力向上・学習の動機づけになった。/国際交流で多様性理解・対話力向上を目指す | 共生理解が定着し交流が根付いている。現状維持を願う。/ 豪州姉妹校交流事業を三木総合高へ継承してほしい。 | | | | | | |
| | | 地域連携 | 学年・特色教育 | 3 | 授業やボランティア活動などを通じて、地域に貢献しようとする態度を身に付けるための活動ができていますか。 | A | 3.77 (100.0%) | A | 3.67 (96.3%) | A | 2.99 (75.0%) | A | 3.02 (75.5%) | A | 3.39 (95.3%) | A | 3.33 (92.3%) | 地域店と連携した探究活動や、駅前清掃・小学校ボランティアを通じて生徒の成長につながった/参加層の固定化懸念 | 地域貢献活動は充実している一方、生徒は単に参加しているという意識や活動負担も同層。地域社会からのフィードバックを整える必要性がある。 | | | | | | |
| 【ICT活用】 | 情報モラルセキュリティの向上と学習活動の促進 | 学習指導 生徒指導 | 情報キャリア・学年 | 16 | 場面にあわせたタブレット等のICT機器を活用できるよう工夫や整備ができていますか。 | A | 3.73 (100.0%) | A | 3.59 (96.3%) | A | 3.53 (95.7%) | A | 3.58 (97.0%) | A | 3.35 (89.3%) | A | 3.25 (91.6%) | ロイノートは授業での浸透が高く、各種アプリの活用やICT整備も進んでいる。/情報教室の利活用。配信アプリの活用の仕方を研修する。 | 授業でICTが活用され学びが進んでいる。 | | | | | | |
| 【人権教育】 | 人権尊重の精神を培い、「共に生きる社会」の構築に主体的に取り組む | 人権教育 | 人権教育・学年 | 17 | 人権HRや講演会等を通して、人権尊重の精神を育めるようにしていますか。 | A | 3.41 (86.4%) | A | 3.41 (92.6%) | A | 3.44 (96.0%) | A | 3.45 (94.2%) | A | 3.21 (91.2%) | A | 3.19 (93.5%) | 外部講師講演会でインターネットに係る人権について、2年HRはSNSラブル、3年HRは就職・結婚差別等・多文化共生に関するテーマを扱った。 | 講話やHRで人権意識が育まれている。/ SNS等の問題の内容を含めた人権教育の企画を期待 | | | | | | |
| 【学習指導・授業改善】 | 学習意欲を高める教育内容の展開 | 教育課程 学習指導 | 教務・各教科 | 4 | 学校での授業が理解しやすいよう、工夫や環境を整えていますか。 | A | 3.62 (100.0%) | A | 3.44 (96.3%) | A | 3.14 (89.1%) | A | 3.19 (87.2%) | A | 3.16 (90.2%) | A | 3.14 (89.8%) | 実物・映像・ICTで可視化。時事問題や特別非常勤講師の活用。英語は4技能5領域のバランスで興味関心もたせた。タブレット配信は学習に効果的/タブレット悪影響の懸念 | 授業の工夫が進み理解が促されている。 | | | | | | |
| | 学習意欲を高める教育内容の展開・教員の指導力向上 | 教育課程 学習指導 | 教務・各教科 | 5 | 授業を通して基礎・基本の学力を定着させ、家庭においても計画的に学習できるように指導できていますか。 | B | 2.73 (59.1%) | A | 3.00 (66.7%) | B | 2.51 (50.8%) | B | 2.78 (63.8%) | B | 2.94 (75.2%) | B | 2.93 (76.3%) | 授業と課題が連動する学習計画、継続した反復学習など工夫した。最後まで取り組む粘り強さが不足。/個別指導の必要性、反転学習。 | 「基礎講座」の企画、授業内容が家庭学習に直結していない「学習の空洞化」の懸念。授業で「家庭で何をすべきか」具体的な指示、自学習慣化を促す。 | | | | | | |
| 【情報発信・家庭/地域連携】 | 保護者、地域との情報共有 | ホームページ 情報発信 | 学年・情報キャリア・総務 | 7 | ホームページやClassi、学年通信等で学校の情報を発信できていますか。 | A | 3.64 (90.9%) | A | 3.70 (100.0%) | A | 3.33 (87.6%) | A | 3.49 (91.8%) | A | 3.42 (94.7%) | A | 3.55 (96.2%) | Classi等で発信は概ね良好/HP更新の人手・体制に課題 | 情報発信は迅速で内容も伝わっている。/開校に向けての取組が見える形での発信を期待。 | | | | | | |
| 【情報発信・進路指導】 | 進路指導の整備・勤労観、職業観の育成 | 進路指導 キャリア教育 | 学年・進路指導 | 8 | 進路HRや進路説明会などを通して情報を発信できていますか。 | A | 3.55 (100.0%) | A | 3.67 (92.6%) | A | 3.37 (92.5%) | A | 3.43 (92.7%) | A | 3.23 (90.8%) | A | 3.21 (90.6%) | HR・説明会・OB座談会・高大連携など機会提供は多様 | 進路情報が行き届き活用が進んでいる。 | | | | | | |
| 【特別活動(行事・部活動)】 | 行事、部活動などの活性化 | 生徒会指導 部活動指導 | 学年・生徒会 | 10 | 学校行事や部活動、生徒会活動に積極的に取り組むことができる教育環境を整えていますか。 | A | 3.68 (100.0%) | A | 3.52 (96.3%) | A | 3.36 (88.0%) | A | 3.29 (86.2%) | A | 3.30 (93.5%) | A | 3.26 (89.7%) | 主体的参加と学年・クラスの協働がみられる/人数・体力・教員数を考慮が必要 | 行事での笑顔が多く環境が整っている。/生徒・職員員のモチベーションが維持できる行事企画を期待。 | | | | | | |
| 【環境美化(清掃)】 | 基本的な生活習慣の確立 | 清掃 集団指導 | 総務 | 15 | 積極的に清掃活動に取り組める環境を整えていますか。 | A | 3.32 (95.5%) | A | 3.37 (88.9%) | A | 3.39 (89.7%) | A | 3.41 (92.1%) | A | 3.08 (80.5%) | A | 3.04 (80.0%) | 生徒・教員数減で清掃が行き届かない箇所あり。使用可能場所、清掃箇所の縮小の必要性。 | 校内は清潔で清掃への意識が高い。 | | | | | | |
| 【生活指導・安全】 | 規範意識の向上 | 生活指導 集団指導 | 生徒指導 | 6 | 交通マナーやルールを指導し、安心・安全な生活をさせるようにしていますか。 | A | 3.23 (90.9%) | A | 3.46 (100.0%) | A | 3.55 (95.7%) | A | 3.66 (97.4%) | A | 3.22 (93.6%) | A | 3.22 (90.8%) | 定期的な情報提供・指導を継続 | 指導は行き届いている。高齢者の多い地区住民に思いやりのある交通マナーが守られている。 | | | | | | |
| | | 生活指導 集団指導 | 生徒指導 | 9 | 校外でのルール順守やマナー向上への取組を行っていますか。 | A | 3.18 (86.4%) | A | 3.44 (92.6%) | A | 3.52 (98.4%) | A | 3.55 (95.0%) | A | 3.21 (90.1%) | A | 3.29 (94.9%) | 校外でのルール順守に課題あり(外部機関連携の強化) | 挨拶の習慣や端正な身だしなみなどが定着している。 | | | | | | |
| | | 生活指導 集団指導 | 生徒指導 | 11 | 問題行動(SNSの利用方法やいじめを含む)の未然防止に関する取組を行っていますか。 | A | 3.14 (90.9%) | A | 3.48 (100.0%) | A | 3.53 (96.1%) | A | 3.60 (95.6%) | A | 3.14 (89.7%) | A | 3.04 (83.5%) | SNSに関する緊急調査・周知を実施した/規範意識を高められる具体的な指導を構築する | 未然防止が機能し落ち着いた環境です。 | | | | | | |
| | 基本的な生活習慣の確立 | 生活指導 | 学年・保健・食育 | 13 | 起床、就寝時間、三食をきちんととるなど規則的な生活習慣が身に付くよう指導できていますか。 | A | 3.09 (90.9%) | A | 3.07 (88.9%) | A | 3.13 (77.7%) | A | 3.25 (82.2%) | B | 2.92 (73.9%) | A | 3.00 (77.4%) | SHR/LHRや授業で生活リズムや食習慣の見直しを促し、規則正しい生活習慣の定着を図っている。/自律への行動化を考えさせる。 | 自己管理能力の育成。行動に移すきっかけと気づきが必要。アプリ導入や生活習慣を整えることで得られる予備知識を生徒に検証、ハズセッションする。小さな習慣を家庭と協力して支える。 | | | | | | |
| 【相談体制・生徒支援】 | 生徒、保護者との相談体制や環境の整備 | 教育相談 | 保健 | 12 | 教育相談や保健室は必要に応じて活用できる環境と整えられていますか。 | A | 3.59 (100.0%) | A | 3.74 (100.0%) | A | 3.48 (95.6%) | A | 3.36 (91.1%) | A | 3.40 (94.6%) | A | 3.33 (92.4%) | 教育相談・保健室・SC等、必要時にアクセス可能/日常の声かけ | 相談体制が機能し支援に結び付いている。 | | | | | | |
| | | 教育相談 通級指導 進路指導 | 学年・保健・通級 | 14 | 面談等で進路や学習、悩みについて十分に相談する機会が作られていますか。 | A | 3.50 (95.5%) | A | 3.56 (100.0%) | A | 3.33 (89.8%) | A | 3.31 (89.5%) | A | 3.14 (84.1%) | A | 2.97 (76.3%) | 担任・進路指導・保護者とこまめな面談で、細やかな支援ができた。通級指導の校内研修、コーディネーター研修により教員が生徒理解・体制構築につながった。 | 面談機会が確保され相談がしやすい。 | | | | | | |

アンケート評価 A 3.0以上 B 2.5以上3.0未満 C 2.5未満
 アンケート評価基準(4段階) 4 よくてきている 3 できている 2 あまりできていない 1 できていない